

令和元年度第2回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議 議事録

■ 開催日時

令和元年12月16日(月) 午後2時00分～午後2時40分

■ 開催場所

石狩市北石狩衛生センター 会議室

■ 出席委員

- ・藏崎 正明 委員長(学識経験者委員)
- ・本吉 俊一 副委員長(町内会、自治会等推薦員)
- ・秋山 雅行 委員(学識経験者委員)
- ・加藤 泰博 委員(町内会、自治会等推薦委員)
- ・長谷川和男 委員(町内会、自治会等推薦委員)
- ・篠原 昇 委員(町内会、自治会等推薦委員)
- ・高橋 祐二 委員(町内会、自治会等推薦委員)
- ・柴田志寿子 委員(北石狩農業協同組合、関係団体推薦委員)
- ・大内さつき 委員(市民公募委員)
- ・大川 里織 委員(市民公募委員)
- ・原 つぐみ 委員(市民公募委員)

■ 事務局

- ・環境市民部長 新岡研一郎
- ・環境市民部ごみ・リサイクル課長 石倉 衛
- ・環境市民部ごみ・リサイクル課廃棄物担当主査 渡部 道夫
- ・環境市民部ごみ・リサイクル課廃棄物担当主任 小島 義宗

■ 説明員

- ・石狩三友メンテナンス株式会社業務部営繕課長 松井 隆幸
- ・石狩三友メンテナンス株式会社業務部業務課長 中島 均
- ・石狩三友メンテナンス株式会社経理責任者次長 佐藤 鋭司
- ・石狩三友メンテナンス株式会社業務部営繕係長 小野寺康之
- ・株式会社ドーコン都市環境部 副主幹 坂本 仁
- ・株式会社ドーコン経理部 参事 畠 秀明

■ 傍聴者数 0名

【事務局 石倉課長】

皆さん、こんにちは。ごみ・リサイクル課の石倉です。皆さま本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。それではお時間となりましたのでモニタリング会議を開催したいと思います。

なお、本日は石井委員、浅水委員、小山委員から欠席のご連絡をいただいております。それでははじめに石狩市環境市民部長の新岡よりご挨拶を申し上げます。

【事務局 新岡部長】

皆さんこんにちは。本日は、足元が悪いところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。令和元年度第2回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

石狩市の一般廃棄物処理施設であります北石狩衛生センターにおいて、要求水準書及び事業計画書などに求められた内容の確実な履行が行われているのかの確認を行う目的で施設の、環境的さらに財務的な点からモニタリング、いわゆる事業報告を実施してきております。

本日は、令和元年度上半期を中心としまして、評価結果をお示しし、委員の皆様から第三者のお立場、また専門的な見地からご意見を賜る機会となっております。

皆様から活発なご意見、ご助言を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い致します。

【事務局 石倉課長】

それでは、次に藏崎委員長からご挨拶いただきまして、引き続き、議事進行についてお願いしたいと思います。宜しくお願い致します。

【藏崎委員長】

本日も宜しくお願い致します。色々なご意見を頂いて、有意義な時間を過ごしていきたいと思っております。

それでは最初に本日の日程、資料につきまして、事務局から説明をお願い致します。

【事務局 石倉課長】

それでは、まず本日の配布資料をご確認させていただきます。

配布資料は2種類、A4判一枚のもの、A4のモニタリング会議の資料でございます。資料がない方いらっしゃいませんか。

本日の議事に係る①から②までの資料のほか、参考資料といたしまして、モニタリング計画とモニタリング要領を資料に掲載しております。つぎに本日の日程についてご説明致します。議事の1、報告事項①「令和元年度石狩市北石狩衛生センター運営におけるモニタリング実施状況について（上半期分）」。報告事項②といたしまして、「平成30年度石狩市北石

狩衛生センター運営における財務状況について」以上案件2件を予定しております。

【藏崎委員長】

それでは議事の1、報告事項①「令和元年度石狩市北石狩衛生センター運営におけるモニタリングの実施状況について（上半期分）」の報告をお願い致します。

【株式会社ドーコン 坂本氏】

それでは私の方から平成31年4月から令和元年度9月までの石狩市北石狩衛生センター運営におけるモニタリング実施状況について（上半期分）についてご説明させていただきます。

それでは、今回のモニタリングの評価結果ということで、資料の1ページになります。右上の方に資料①と示されている資料です。

評価結果につきましては、表の方で順番に説明しますと、左側の上から運転管理業務となっております。計量棟に係る運転管理業務、焼却施設に係る運転管理業務、破碎施設に係る運転管理業務、最終処分場に係る運転管理業務にということで、4月期から9月期まで確認した結果、問題ないという結果になってございます。

続きまして、維持管理業務につきましても、4月から9月まで問題なしと、最後はその他関連業務につきましても問題はなしということで、以上で要求水準書等を踏まえまして、問題なく実施されていると評価してございます。

続きまして、評価以外の主なトピックについて各月毎に説明させていただきます。まず4月期につきましては4月3日に1号焼却炉の温水発生器に漏水が見られたため、4月5日までに修繕を完了しました。これについては施設の緊急時の対応がなされているということでございます。続きまして5月期については、4月27日から5月7日にかけて破碎設備における供給フィーダの内部フレームの修繕、整備を実施しました。これは施設の整備に対応しているということで平常時の対応がなされていました。次、6月期については、6月4日に1号クレーン横行異常のため焼却炉を埋火しまして、6月17日までに修理を完了しました。これについても施設の緊急時の対応がなされているということでございます。次、7月期につきましては7月3日にごみピット残量調整を実施しました。これについても施設の緊急時の対応がなされていました。次に8月期につきましては8月5日に1号焼却炉燃焼ストーカ受けローラーが動作不良のため、交換を行いました。これも施設の緊急時の対応がなされていました。9月期につきましては9月11日にごみピットから白煙が発生したため、消火栓による放水対応を行いました。これについても施設の緊急時の対応がなされているということで以上のようなトピックがございました。

以上、評価結果についても問題はございませんでしたし、評価以外のことについても緊急時の対応ですとか適切な対応がなされていて、特に大きな問題はないとご報告させていただきます。私の方からの説明は以上でございます。

【藏崎委員長】

はい、どうもありがとうございました。ただ今の報告事項①「令和元年度石狩市北石狩衛生センター運営におけるモニタリングの実施状況について（上半期分）」について、何かご質問などコメントがございましたらお願い致します。

【加藤委員】

ちょっと教えて頂きたいのですが、ドーコンさんの確認のされかたというのは、提出された書類やデータをチェックして報告されているのか、もしくは実際に現場に立ち会って確認されているのか報告されているのか、そのあたりについてお尋ねしたいと思います。

【株式会社 坂本氏】

確認事項につきましては、書類でデータが上がってきます。そして各項目ごとにチェックする事項が決まっていますので、それに基づいて要求水準書を満たしているかどうか確認してございます。これは書類については毎月提出していただいていますのでそれを見ております。現場についてもふた月に一回、実際に現場を見て、施設の運営が要求水準書のとおりになされているか確認してございます。

【加藤委員】

この確認の仕方というのは、一般的に行われている確認方法と思ってよろしいですね。

【株式会社ドーコン 坂本氏】

そうですね。わが社でも事例は少ないのですが、過去の経験ですとかきちんとチェックすべきものとか、このモニタリング業務を始める際に、石狩市さんと私共でこういうチェックをしましょうというものを作成し、それに基づいて、きちんと決めていますので、特に問題はないと考えております。

【加藤委員】

はい。ありがとうございます。

【藏崎委員長】

はい、ありがとうございました。ほかにご質問などがございましたらお願い致します。

【本吉副委員長】

6月期のことでお聞きしたいのですが、6月4日に1号クレーン横行異常のため、焼却炉を埋火したとありますが、それから6月17日に修理が完了したということですが、クレーンは2基あるはずですから、なぜ埋火する必要があったのかなと思ひまして、理由をお尋ねしたいと思います。

【石狩三友メンテナンス株式会社 松井課長】

今、おっしゃられたとおりクレーンは2基ありまして、1号機が使えない場合、2号機に切り替えて使用すればいいということでご質問されていると思いますが、今回はごみピットの上空で作業をしている途中で故障してしまった関係上、1号機を格納しないと2号機に切り替えることができないのですが、格納が出来なくなったので、資料だけを見ると、6月17日まで13日間、焼却炉を停止しているように読み取れてしまいますが、実際には4時間ほどだけ埋火させていただいて、クレーンを格納して、2号機に切り替えて運転を再開したという流れになっております。すぐに再開できなかつたというのはあるのですが、インバーターの故障表示等いろいろとありましたが、4時間後には通常運転には戻しております。

【本吉副委員長】

今、話を聞いて分かりましたけども、資料の文章だけを見るとなぜ17日までかかってしまったのかと思ってしまったので質問をさしてもらいました。よくわかりました。

【藏崎委員長】

よろしいでしょうか。他にご質問はございますか。

【秋山委員】

資料のほうの内容でわからないので教えて頂きたいのですが、例えば6ページのところで市民対応とありますが、それはどういうものかお尋ねしたいのですが、ご説明いただければと思います。

【株式会社ドーコン 坂本】

これも少しわかりづらいのですが、これは電話による対応ですね。例えばごみ受け入れについての問合せですとか、そういった対応の件数ですね。

【秋山委員】

同じ6ページ目なのですが、興味深いのは海岸ごみのことですか朝鮮由来の船籍のごみ受け入れがあったようですが、こういう事例というのはけっこうあるものなのでしょうか。

【事務局 石倉課長】

私からお話しさせていただきます。海岸漂着ごみはいわゆる一般廃棄物として処理されますので、漁港内ですとか漁業に影響があるごみというのは北海道のほうで回収の委託をしていて、そのごみを北石狩衛生センターで一般廃棄物として処理します。それはだいたい

毎年あります。そのほか朝鮮由来の船舶というのは昨年度はじめて石狩市の海岸に漂着して一隻ありました。今年度についても一隻漂着しております。

昨年度は道内全体で漂着した船舶が多かったらしく、日本海側の市町村に六十数隻、漂着したと聞いております。

【秋山委員】

ちなみに海岸ごみの受け入れというのは何回くらいありますか。

【事務局 石倉課長】

回数で言うと、年2回ほどです。

【秋山委員】

わかりました。あと12ページで最終処分場の遮水シートに亀裂がという項目がありましたが、定期的な補修というのはどれくらいの頻度で行われているのか、またイレギュラーな亀裂などはどのくらいあるのでしょうか。

【石狩三友メンテナンス 松井課長】

最終処分場のシートの点検ですとかその他の点検というのは毎月行っています。点検をした中で5月の点検の際に亀裂が見つかりまして、急遽補修をしたということがありました。また冬季間は雪に覆われてしまいますので、シートの確認はできないのですが、雪がなくなり次第、順次点検をしております。シートは常に紫外線にさらされていますので経年劣化ということもあると思います。

【秋山委員】

ありがとうございました。

【藏崎委員長】

他にございますか。

【藏崎委員長】

私のほうから2点ほどご質問させていただきたいのですが、過去にもあったと思いますが、ごみ処理に関する火災や爆発の事故はどれくらいあるのでしょうか。市民の分別がよくないから起きてしまうのかどうでしょうか。

【石狩三友メンテナンス 松井課長】

今、ご質問がありました火災や爆発といった事故については、爆発に関しては件数が減ってきております。危険ごみという分類を市の方で設けて頂きましたので、分別の意識が

進んできて、爆発事故というのは無くなってきたかなと。ですがボヤや火災については今年度4月から16回あります。その中で一番多いのがリチウムイオン電池によるボヤが14回ありました。ご家庭で使われているものの中にリチウムイオン電池がものすごく多く使われていて、小さくても容量が多いものがあり、現場で一番困っているのが充電式掃除機ですとか電子タバコ、一番は電子タバコかもしれません。どんどん新しいものが出てきますし、働いている社員の中でもタバコを吸わない者がいます。電子タバコになじみのない者からすると、物を見てもそれが電子タバコかどうか見分けるのも難しく、それが一番ネックかなと。正直ボヤというのは多いです。

【藏崎委員長】

それでも事故が起きないように市民への周知というのは行っているのですか。

【事務局 石倉課長】

周知は毎年、ごみの分別ガイドというものを市民向けに発行しておりまして、その中に分別の仕方を載せております。今度の市広報1月号にリチウムイオン電池の分別についての記事を掲載します。

【藏崎委員長】

掲載の際には、火災事故に関することも記載したほうがいいかなと思います。つづけて、ふたつ目の質問ですが、7月に塩害整備を行ったとありますが、実際にはどういうことを行っているのでしょうか。

【石狩三友メンテナンス 松井課長】

我々は塩害整備と言っているのですが、施設の配電盤等の総点検でして、電力事業者から施設に入ってくる電柱のところで遮断して、碍子の拭き掃除ですとか、電気室内の変圧器や配電盤の総点検のことを塩害整備と呼んでいます。塩害というのは施設が海側にありますので、毎年1回は総点検をしているところでございます。専門家からも年1回で大丈夫といわれていますので毎年継続して行っております。

【藏崎委員長】

わかりました。ありがとうございます。他にございますか。なければ委員の皆様から頂いた意見を事務局で検討して頂ければと思います。

それでは次に報告事項②「平成30年度石狩市北石狩衛生センター運営における財務状況について」の報告をお願い致します。

【株式会社ドーコン 畠氏】

私の方からは「第8期（平成30年4月～平成31年3月）の財務状況」における財務状

況のモニタリングについてご説明させていただきます。資料については22ページとなります。財務状況のモニタリングについても、いくつかの項目を設定して、数値化したうえで評価をしております。具体的には収益性、安全性、キャッシュフローの三つの分野をモニタリングの対象としております。これらの項目についてご説明いたします。まず、収益性については、継続して事業を行うだけの収入があるかどうか。安全性については負債の支払い能力が十分か。そしてキャッシュフローは資金繰りに問題はないかと三つの分野をモニタリングの対象とさせていただきました。これらを数値化するにあたり石狩三友メンテナンス株式会社様からは監査済みの財務諸表、決算書の提出を受けております。22ページの資料③が結果となるのですが、収益性、安全性、キャッシュフローの各項目については一般的な財務分析指標を用いてモニタリングを行っております。それぞれの指標の説明については23ページから24ページにかけての「3. 参考」のとおりとなっております。なお、数値の指標が示されているものにつきましては社団法人日本監査役協会発行の新任監査役ガイド、主な財務分析指標を参考にして分析しております。

それでは実際に数字を見ていきたいと思えます。まずは損益計算書、売上高、営業利益、経常利益につきましては例年並みということでプラスになっておりますので問題ありません。

それから収益性ですね。収益性については(1)から(3)まで全てプラスとなっております。こちらについても問題ありません。(1)の総資本経常利益率につきましては使ったお金でどれだけ利益を稼いだのか。それから自己資本経常利益率というのは自己資本の有効活用の度合い。そして売上高経常利益率というのはどれだけ効率の良い経営を行っているのかを示しております。こちらについては全てプラスとなっております。

安全性につきましては数値目標がある(4)、(5)、(7)、(8)こちらにつきましても、いずれも目安をクリアしておりますので問題はなく、自己資本比率については66%ということで年々利益の蓄積ですとか長期借入金の返済がともに順調であるため年々数値が上昇しております。具体的に流動比率、当座比率というのは短期的な支払い能力を示すもので手元の資金力を示します。具体的には未払金ですとか借金ですね。これから払わなければいけないお金が手元にどれだけ支払い能力があるかを示します。そして固定比率、固定長期適合率は固定資産の調達をどの程度、自己資本や長期資金で賄っているかを表すもので資金繰りの圧迫度合いを表します。自己資本比率はどの程度、返済不要の資本を元手に事業を行っているのかの数値となっております。

最後にキャッシュフローです。キャッシュフローについては営業キャッシュフロー、投資キャッシュフローがプラスとなっております。財務キャッシュフローについてはマイナスとなっておりますが、銀行から借りている借入金を返済しているということでマイナスということになっております。こちらのマイナスも(12)現預金増減額で最終的にはプラスとなっておりますので現金全体の動きとしてはプラスとなっておりますので問題ありませんでした。以上で私からの報告を終わります。

【藏崎委員長】

はい、どうもありがとうございます。今報告のありました「平成30年度石狩市北石狩衛生センター運営における財務状況について」につきましてご質問があればお願い致します。

【秋山委員】

財務状況について、あまり深い理解はできていないのですが、報告事項①のなかで緊急時の対応ということがあり、今後施設が古くなっていく中で、施設の修繕、整備など今後の見通しをお尋ねしたいと思います。

【石狩三友メンテナンス株式会社 佐藤次長】

経理を担当しております。佐藤と申します。宜しくお願い致します。

緊急時のことを想定して、初年度に1億円を借り入れしました。今現在、三千万まで圧縮しました。また保険も掛けております。利益については内部留保とあって、何かあってもいように、会社として体力をつけてということで、8期で2億円ほどの内部留保がございます。石狩市からの要求水準書ではですね。事業者は安定的な運営をして下さいとありますので、市の意向に沿えるように財政の増強に邁進しております。以上です。

【秋山委員】

はい。ありがとうございます。

【藏崎委員長】

他にご質問ありますでしょうか。

【藏崎委員長】

私も財務については素人で正直よくわからないのですが、昨年度の財務状況と比べまして、運営自体の状況については特段変わったことがないのに、なぜ年々財務状況が良くなっていくことができるのか教えて頂けますか。

【石狩三友メンテナンス株式会社 佐藤次長】

社員の技術力向上に基づきまして、これまで外部に委託していた細かい修理等を内部でできるようになってきてまして、その関係で利益が増幅できるようになってきております。それが大きな要因かと思えます。

【藏崎委員長】

それでは、来年度もより良くなるということですね。

【石狩三友メンテナンス株式会社 佐藤次長】

いえ、電気料金、また人件費、特に電気料金については増えておりますので、若干利益は落ちるかと思えます。電気代が非常に高騰しておりますので、外部の経済的な素因ですから、社内だけでは難しいかなと、しかしそういうエネルギーに関しても将来的にどうするか内部でも検討しておりますので、今以上に努力してまいります。

【藏崎委員長】

はい。ありがとうございます。他にご質問ございませんか。

それでは、事務局より次の議事の「その他」について何かありますか。

【事務局 石倉課長】

それでは、私の方からその他ということでご案内いたします。次回のモニタリング会議の開催ですが、来年の7月を予定しております。日程につきましては改めてご案内差し上げたいと思いますので、ご出席の方、どうぞよろしく願いいたします。事務局からは以上です。

【藏崎委員長】

はい。本日は、委員及び石狩市職員及び業者の方々の協力をいただき、進行をスムーズに進めることができました。令和元年度第2回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議を以上で終了したいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

【一同】

ありがとうございました。

議事録を確認しました。

令和2年1月27日

石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議

委員長 藏 崎 正 明